

熊谷でラグビーに浸る一日

熊谷市の熊谷スポーツ文化公園にある熊谷ラグビー場周辺で23日、来年9月に同ラグビー場などで開かれるラグビーワールドカップ（W杯）日本大会の開催1年前イベント（主催・県と同市）があった。同公園には約4万5千人が訪れ、終日、ラグビーやW杯にちなんだ関連行事を満喫した。

8月末にW杯仕様の改修が終了した同ラグビー場を初めて一般の人に披露する見学会は、午前8時から

W杯1年前イベントに4万5000人

希望者の列ができたため、見学者を予定より70人多い570人に増やすなど対応に迫られた。

見学者は、スタンド、貴賓席、選手控室などを見て回り、最後に選手入場口からピッチ上に。真新しい天然芝を前に感嘆の声が漏れた。行田市の会社員、大沢昭雄さん(53)は「映像装置やシャワールームなどの最新設備に感心した。10月20日のこけら落としの試合にも来る」と話した。

ラグビー場隣の特設ステージでは、県内出身の女性アイドル2人が登場した開催都市特別サポーターの任命式や、県内42のキャラクターがラグビージャージャー姿で登場した「ゆる玉ファイティーン任命式」に歓声が上がっていた。

また開催都市対抗戦として、新日鉄釜石(岩手県釜石市)のOB、県内や熊谷市ゆかりのOB、旧三洋電機OBによるレジェンドマッチも行われた。(坂井俊彦)



熱戦を繰り広げた新日鉄釜石OBと、県内や熊谷市ゆかりのOBチーム=23日、熊谷市の熊谷ラグビー場Cグラウンド